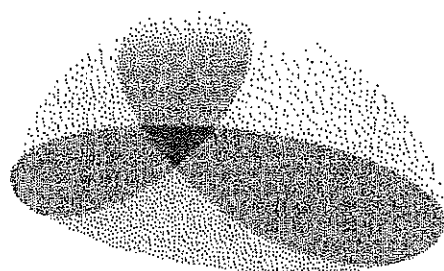


令和 2 年度

特別養護老人ホームせくれ～Secure～

事業報告書(案)



みんなの「生きる」を
社会福祉法人

社会福祉法人ふれあいの里

IV.令和2年度特別養護老人ホームせくれ〜Secure〜並びに併設型 短期入所生活介護事業所せくれ〜Secure〜事業報告書（案）

1. はじめに

施設長 岩淵あすか

特別養護老人ホームせくれ〜Secure〜は、約9年目が経過し、ご家族の方々はじめ地域の皆様、ご利用者様、職員、関係する方々すべての皆様のご協力とご理解のもと運営してこれた事に感謝いたします。

運営状況としては、昨年の12月に当事業所にて新型コロナウイルスに感染し一時、ショートステイの休止をさせていただきました。人員の確保も難しく、県の人材派遣の要請を他法人の方々にご協力をいただきながら、クラスターを出すことなく職員一丸となって乗り越えました。ご利用者、ご家族、地域の皆様方にはご心配とご迷惑をおかけしました。

事業所といたしましては、これを糧に感染対策の強化をして参りました。入居者の皆様には少しでもこのコロナ禍ではありますが楽しみを半減させないよう、行事も各棟ごとにて縮小した形で感染対策をしっかりとった上での開催としております。また外出もなかなかできない状況の中、施設内でのお菓子作りやレクリエーションなど利用者様と職員が一緒になって楽しめました。

ショートステイ稼働率につきましては、コロナ禍という事もあり、12月以降は80～90%で稼働をしております。そのような中でも当事業所を選んで来て下さるご利用者、ご家族様には大変感謝をしております。

長期入居者様については、ユニット棟で3名、従来棟で6名の方が退居されております。様々な疾患をお持ちになっている方々や、お食事を摂る事が困難になった方などを理由に医療機関に入院し退居となったケースも多くあり、事業所での今後の医療体制の確保も図っていきたいと同時に、1人1人が「死」という事に向き合えた時間でもありました。我々は医療と暮らしの場を支える役割があります。ご利用者様の為に何をしなければならないか、何ができるのか、ご利用者様自身に教えていただいた気がいたします。今後も、我々の果たすべき役割をしっかりと認識しながら、ご利用者様、ご家族様への「安心」「安全」を届けて参りたいと考えます。

昨年度の重点施策におきましては、「24時間シートの有効活用」「介護ロボットの有効活用」「地域との公益的取り組み」に焦点を当て取り組んで参りました。

24時間シートや介護ロボットについては、1人1人がその必要性を感じ、どうご利用者様に満足のいくサービスを提供できるか、また在宅での暮らしの継続を軸になじみの関係を

気づきながら自立支援に繋がられるかを考えながら活用して参りました。

地域との公益的取り組みについては、コロナ禍という事もありなかなか実施できない状況でもございましたが、今年度はこの感染対策の中、少しでも地域の方々、独居世帯、高齢世帯の方々に非常時の際に安心して暮らしていただける物資の提供なども考えております。

令和3年度は、介護報酬の改定もあり、2025年を見据えた体制となって参りますので事業所としても体制を整え、特養としての使命を忘れる事なく、関係する方々と向き合い互いへの感謝を忘れず邁進して参ります。

2. 施設の形態及び定員

事業名	居室形態			
	4人部屋	2人部屋	個室	合計
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	12床	2床	18床	32床
短期入所生活介護	0床	8床	2床	10床
合計	12床	10床	20床	42床

※短期入所生活介護には、空床利用型障がい者短期入所生活介護サービスの利用可能枠2床を含む。

3. 入居者の状況

(1) 出身別入居者状況

出身地別	従来棟	ユニット型10名棟	ユニット型8名棟
迫町	8名	4名	2名
南方町	3名	4名	1名
豊里町	1名	0名	0名
中田町	0名	1名	2名
登米町	0名	1名	0名
石越町	0名	0名	2名
東和町	0名	0名	0名
米山町	0名	0名	0名
津山町	0名	0名	0名
合計	12名	10名	7名

(2) 年齢別入居者状況

	～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	合 計
男	0	0	1	0	3	1	1	2	0	0	8
女	0	0	1	1	0	2	7	6	3	1	21
合計	0	0	2	1	3	3	8	8	3	1	29

最高年齢： 100歳

最少年齢： 67歳

平均年齢： 86.7歳

(3) 介護度及び男女別入居（利用）状況

① 従来型

令和3年3月31日 現在

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度
男 性	0名	0名	0名	0名	0名	0名	
女 性	0名	1名	4名	3名	4名	12名	3.8
合 計	0名	1名	4名	3名	4名	12名	3.8

① ユニット型

令和3年3月31日 現在

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度
男 性	0名	0名	4名	3名	1名	8名	3.6
女 性	0名	0名	2名	4名	3名	9名	4.1
合 計	0名	0名	6名	7名	4名	17名	3.9

② 併設型短期入所生活介護

令和3年3月31日 現在

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度
男 性	0名	1名	5名	3名	1名	10名	3.6
女 性	5名	7名	9名	5名	4名	30名	3.1
合 計	5名	8名	14名	8名	5名	40名	3.2

(4) 稼働状況

①従来型

月	定員	営業日	100%稼働時日数	入居延日数	稼働率
4月	14名	30日	420日	383日	91.2%
5月		31日	434日	403日	92.9%
6月		30日	420日	378日	90.0%
7月		31日	434日	400日	92.2%
8月		31日	434日	372日	85.7%
9月		30日	420日	387日	92.1%
10月		31日	434日	394日	90.8%
11月		30日	420日	325日	77.4%
12月		31日	434日	361日	83.2%
1月		31日	434日	366日	84.3%
2月		28日	392日	359日	91.6%
3月		31日	434日	415日	95.6%
従来型平均稼働率			5,110日	4,543日	88.4%

②ユニット型

ユニット型					
月	定員	営業日	100%稼働時日数	入居延日数	稼働率
4月	18名	30日	540日	531日	98.3%
5月		31日	558日	558日	100.0%
6月		30日	540日	523日	96.9%
7月		31日	558日	535日	95.9%
8月		31日	558日	496日	88.9%
9月		30日	540日	517日	95.7%
10月		31日	558日	537日	96.2%
11月		30日	540日	510日	94.4%
12月		31日	558日	513日	91.9%
1月		31日	558日	516日	92.5%
2月		28日	504日	480日	95.2%
3月		31日	558日	535日	95.9%
ユニット型平均稼働率			6,570日	6,251日	95.4%

③併設型短期入所生活介護（障がい者短期入所生活介護を含む）

月	定員	営業日	100%稼働時日数	入居延日数	稼働率
4月	10名	30日	300日	295日	98.3%
5月		31日	310日	313日	101.0%
6月		30日	300日	290日	96.7%
7月		31日	310日	333日	107.4%
8月		31日	310日	362日	116.8%
9月		30日	300日	344日	114.7%
10月		31日	310日	314日	101.3%
11月		30日	300日	302日	100.7%
12月		31日	310日	118日	38.1%
1月		31日	310日	34日	11.0%
2月		28日	280日	250日	89.3%
3月		31日	310日	278日	89.7%
併設型短期入所生活介護平均稼働率			3,650日	3,233日	88.75%

（５）利用者負担段階別所得区分の状況

① 従来型

令和2年3月31日 現在

所得区分	1段階	2段階	3段階	4段階	合 計
所得区分	1段階	2段階	3段階	4段階	合 計
男 性	0	0	0	0	0
女 性	2	6	4	0	12

② ユニット型

令和2年3月31日 現在

所得区分	1段階	2段階	3段階	4段階	合 計
男 性	0	2	6	1	9
女 性	0	4	3	1	8
合 計	0	6	9	2	17

③ 併設型短期入所生活介護

令和2年3月31日 現在

所得区分	1段階	2段階	3段階	4段階	合 計
男 性	0	0	2	8	10
女 性	1	1	0	14	16
合 計	1	1	2	22	26

【上記所得区分の内容】

利用者負担第1段階	住民税非課税世帯・老齢福祉年金受給者並びに生活保護受給者の方
利用者負担第2段階	住民税非課税世帯・課税年金及び合計所得金額の合計が80万円以下の方
利用者負担第3段階	住民税非課税世帯・課税年金及び合計所得金額の合計が80万円以上266万円未満の方
利用者負担第4段階	左記以外の方（課税年金収入が266万円以上の方）

（6）日常生活の状況（従来型+ユニット型：32名対象）

① 日常生活自立度の状況【日常生活自立度（寝たきり度）判定基準】（厚生労働省）

令和2年3月31日 現在

生活自立	ランクJ	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており自力で外出する	
		1. 交通機関を利用して外出する	0名
		2. 隣近所へなら外出する	0名
準寝たきり	ランクA	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしでは外出しない	
		1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する	2名
		2. 外出する頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている	7名
寝たきり	ランクB	屋内での生活は介助を要し、日中もベッドでの生活が主体であるが座位を保つ	
		1. 車いすに移乗し、食事・排泄はベッドから離れて行う	4名
		2. 介助により、車いすに移乗する	10名
寝たきり	ランクC	一日中ベッドで過ごし、排泄・食事・着脱において介助を要す	
		1. 自力で寝返りをうつ	0名
		2. 自力では寝返りをうたない	6名

② 日常生活動作の状況【日常動作判定基準】（厚生労働省）

③ 令和3年3月31日 現在

1. 移 乗	A 時間がかかっても介助無しにひとりで歩く	4名
	B 手を貸してもらうなど一部介助を要する	15名
	C 全面的に介助を要する	11名
2. 食 事	A やや時間がかかっても介助なしに食事をする	5名
	B おかずを刻んでもらうなど一部介助を要する	18名
	C 全面的に介助を要する	7名
3. 排 泄	A やや時間がかかっても介助無しに一人で行える	5名
	B 便器に座らせてもらうなど一部介助を要する	12名
	C 全面的に介助を要する	13名

4. 入浴	A やや時間がかかっても介助無しに一人で行える	1名
	B 体を洗ってもらうなど一部介助を要する	13名
	C 全面的に介助を要する	16名
5. 着替	A やや時間がかかっても介助無しに一人で行える	2名
	B 袖をとおしてもらうなど一部介助を要する	11名
	C 全面的に介助を要する	17名
6. 整容	A 時間がかかっても介助無しに自由に行える	6名
	B タオルで顔を拭いてもらうなど一部介助を要する	13名
	C 全面的に介助を要する	11名
7. 意思疎通	A 完全に通じる	11名
	B ある程度通じる	14名
	C ほとんど通じない	5名

① 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準（厚生労働省）

令和3年3月31日 現在

ランク	判定基準	人数
I	何らかの認知症を有するが日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している	2名
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても誰かが注意していれば自立できる	0名
IIa	家庭外で上記IIの状態がみられる	1名
IIb	家庭内で上記IIの状態が見られる	5名
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	0名
IIIa	日中を中心として上記IIIの状態が見られる	16名
IIIb	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる	3名
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	2名
M	著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする	0名

④ 認知症状による行動障害

徘徊	不潔行為	異食	自傷行為	心気抑うつ状態	火の扱い	幻覚	不穏興奮	妄想
0名	0名	0名	0名	4名	0名	2名	2名	2名

4. 各課毎の業務報告及び課題

平成24年6月1日より、特別養護老人ホームせくれ〜Secure〜が運営を開始し早いもので10年目を迎えようとしております。

各ユニットとも開所からこれまでの期間は、入居者のこれまでの『生活リズム』や『生活歴』を考慮し、生活する場所が変わっても安心して暮らせる場所『家』となるべく業務へ邁進してきました。また、介護サービスを提供する上で、知識や技術において、均等ではないため業務体制の構築へ時間を要し、より良いサービス体制の構築のため経験者、新卒者とも葛藤しながら業務へ一所懸命取り組む姿を垣間見て来たように感じます。

このような状況の中、大きな事故もなく、施設サービスを提供してこれたのも、看護、介護の責任者が中心となり、介護技術や業務へ対する姿勢、取り組み方ばかりではなく、『業務へ対する思い』を含め丁寧な指導を重ねた結果と感じます。

現在では、日常業務の他、これからの『せくれ〜Secure〜』のサービスの在り方について、法人の基本理念や施設経営方針を考慮しながら、業務へ取り組めるようになってきております。

今後とも介護課、相談課、看護課、栄養課、事務課、それぞれが連携を図りながら、入居者の皆様はじめ関わる全ての皆様にとって、なくてはならない施設を目指し努めてまいります。

以上を含め、令和2年度の課題と目標について、各課毎、以下のとおり報告します。

(1) 事務課

○ロボット等介護機器導入支援事業報告について

令和2年度は見守り支援システム「眠りSCAN」を従来棟・SS・ユニット棟における全居室へ設置し、入居者の事故防止、職員の労務負担の軽減に努めて参りました。機器の基本操作や活用方法を学び、日常のケアに活かし、業務の効率化を図ることを目的として、内部研修を実施致しました。次年度は機器の活用の幅を広げるため、内部研修を計画致します。

目的・目標	・入居者様の体調変化の早期発見・早期対応ができ、必要時は家族への連絡がスムーズにできる。 ・入居者様の状態に合ったケアと職員の業務効率化を図る。 ・夜間帯の入居者様の安眠を確保しながらケアを行う。 ・24時間シートの資料材料として活用し、入居者様の自立支援を促す。 ・職員の心身の負担軽減を図る（優先順位をつけて業務を行える）。 ・職員の介護機器に関する興味や知識を高める（見守りの補助役＝介護ロボットを活用するという「意識の土台作り」）。 ・他施設、他事業所等関係機関並びに地域住民へ介護機器の普及を図る。
目的・目標達成のための手段（施設での工夫をしたところ等）	・新規入居者様の生活リズムを把握し、24時間シートの反映に繋げる。 ・ショートステイの利用報告書へ現在より詳しく睡眠状態等の報告ができる。 ・ターミナルのアラーム設定基準（呼吸・心拍数）を決め、早期対応（嘱託医・家族への連絡）ができる。 ・ノンレム睡眠・レム睡眠を生かした介助（トイレ誘導等）ができる。 ・定期的巡視回数を減らすことで、優先すべき利用者様の介助にあたることができ、少しでも一人夜勤体制による身体的・精神的負担の軽減へ繋げる。（優先順位をつけて業務を行える） ・介護機器メーカーへ依頼し、研修会を開催し、介護機器の理解と的確な操作方法を学ぶ。 ・施設内のユニット会議や各委員会でその都度、職員の意見や使用状況について振り返りを行う。

内部研修実施状況	・（全3回、職員参加者：31名） - 第1回 8月25日（火）14：00～ - 第2回 9月 8日（火）14：00～ - 第3回 9月25日（金）14：00～ ・講師 パラマウントベッド株式会社 ・会場 特別養護老人ホームせくれ～Secure～
----------	---

事務課 令和2年度の課題	
入居者様に寄り添ったサービス提供ができていない1年であったと思います。機能の低下により自分のしたいことができない方などから意見や要望を引き出し、日々のサービスに「プラス1：入居者様にとって良いことや要望に応えるサービス」を行うことが職員一人一人の使命であると考えます。意見や要望を取り入れるためにも、寄り添う時間を増やし、入居者様そしてご家族様との信頼関係を築くことも課題として挙げられます。 また、職員としての基礎・基本に振り返り、一福祉人としての自覚と職員一人一人に課せられた役割をしっかりと認識することも重要であると考えます。今後発生する可能性が高い感染症や災害に備えるために、一人一人の自覚と役割の認識のもと、チームケアを構築する必要があります。 さらに感染症の影響により実施が困難となっていた地域住民との関わりについて、社会福祉事業にとどまらないサービスを行うという社会福祉法人としての役割を果たすことを忘れず、地域における公益的な取り組みを含む重点施策を1つでも達成できるよう、次年度へ取り組んで参ります。	
課題を改善するために講ずる計画の概要	
社会福祉法人の職員としての自覚と役割、各関係法令や法人・施設の方針や目的など「基礎・基本」を認識・理解することが必要であると考えております。これまで行ってきた各会議や委員会、新人職員研修の際に職員としての心構えを周知して参りましたが、伝えるだけではなく、伝えた後のチェック（評価）ができておりませんでした。伝えた後、どこまでできているか、振り返りや評価を行うよう努め、一つでも多くの達成に繋げて参ります。職員の自覚や自分がしなければならぬという役割の認識から、入居者様との寄り添う機会の確保に、より意識が高まると考えます。 また職員みなが同じ方向を向けるよう「情報の共有・申し送り」の漏れをなくし、会議や委員会、そして日頃の関わり方で、職員と向き合っていきたいと考えております。周知する際の相手への「配慮」を忘れず、相手の目線に立って、説明や報告ができるよう、周知方法についても改善してまいります。	

（2）相 談 課（生活相談員・介護支援専門員関係）

①主な業務報告

【ケアカンファレンスの開催状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
8名棟	2	2	2	1	0	2	2	2	1	2	0	1	17	1.4
10名棟	2	1	1	3	2	5	1	0	2	3	1	2	23	1.9
従来棟	3	2	1	3	3	3	2	1	2	2	4	2	28	2.3
合 計	7	5	4	7	5	4	5	3	2	7	5	5	59	4.9

※入居者に対し、3ヶ月に1回モニタリング、6ヵ月に1回ケアプランの見直し、1年に1回、ケアプランの立案を行った。

※ケア、栄養、機能訓練のケアプランを反映させた、入居者個々の24時間シートを整備した。

【月別入居者数】

ユニット/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
従来棟	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	4	0.33
10名棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0.16
8名棟	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.08
合 計	0	0	0	0	1	2	0	0	1	1	0	2	7	0.58

【月別新規入居申込の状況】

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	0	0	1	4	4	3	0	0	0	3	1	1	17
要介護4	3	1	0	0	2	0	1	1	0	2	3	0	13
要介護5	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	1	6
合 計	3	2	2	5	7	3	1	1	0	6	4	2	36

【地域別入居申込の状況】

令和3年3月31日現在

	迫町	登米町	東和町	中田町	豊里町	米山町	石越町	南方町	津山町	他市町村	計
男	9	1	0	0	1	0	4	1	0	0	16
女	12	1	0	4	0	1	1	1	0	0	19
計	21	2	0	4	1	1	5	2	0	0	36

【退居状況】

1. 退居理由

令和3年3月31日現在

	希望退居	施設間異動	入院継続	死亡（施設）	死亡（病院）	合 計
男	0名	1名	0名	0名	3名	4名
女	0名	0名	0名	1名	6名	7名
計	0名	1名	0名	1名	9名	11名

2. 月別退居者数

ユニット/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
従来棟	0	1	0	1	0	0	0	2	1	1	0	0	6	0.5
10名棟	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	3	0.25
8名棟	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0.16
合 計	0	1	0	1	1	1	1	2	1	2	0	1	11	0.91

② 課題及び改善計画

相談課 令和2年度の課題	
1. コロナ禍における感染予防	
2. 長期入居に空床を作らないようにし、短期入所の稼働を維持する。	
3. 統一したケアの実践（24Hシート、ケアプラン）	
4. 余暇活動（クラブ活動）	
課題を改善するために講ずる計画の概要	
感染予防について、感染しない、させないを徹底し職員の休日も含め、意識付けが必要となる。短期入所の稼働については、前年度100%を超えて安定していたが、今年度はコロナの影響もあり、大幅に稼働が低下。入居者はもちろん、家族、地域の皆様にも協力を得ながら、感染予防を第一優先しながら、稼働していきたい。ショート送迎時には、健康チェックを欠かさず本人はもちろん、家族の体調も確認しながらの受け入れとなる。また、新規の利用者に関しては、抗原検査を継続していくこととなる。 長期入居においては、退居される方も多く、入れ替わりの多い年となった。健康管理はもちろん、各専門職の知識、技術の向上に努めていくことで、入院者、退居者が減少するのではないかとされる。また、職員の退職者も多く、人員不足から稼働を制限することがないように、各課と協力とならないように、日頃から人材（財）育成に努めていく必要がある。 入居者のケアに関しては、24Hシート、ケアプランの連動がなされていないことが多く、入居者の生活がその日によって大きく左右されていることもある。また、職員一人ひとり対応方法が異なり「自分は・・・」「私は・・・」というケアが目立っている。統一したケアを実践するためにも、24Hシート及びプランを活用していく必要がある。プランの変更時には担当者へ報告していきながら、迅速に対応できるように努めていきたい。 毎月実施してきた、カフェ、居酒屋のクラブ活動は入居者皆様からも好評の声をいただいている。今後も各課と連携し定期開催を行い入居者皆様の非日常の提供へとつなげていきたいと思います。	

（3）看 護 課

①主な業務報告（健康管理の状況）

入居者様の健康状態を観察し、小さな変化も見逃さないよう、入居者様一人一人と関わりをもち、体調不良時には速やかに対応を行うよう努力して参りました。

また、各課との連携と情報の共有を図り、入居者様が毎日を笑顔で過ごせるよう看護師の立場から援助していきたいと考えております。

【嘱託医の回診状況】

嘱託医（宮崎裕医師）による週1回の回診では、入居者様への適切な処置や日常生活における健康管理をご指導頂き、快適な暮らしができるように体調の管理に努めて参りました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
回診回数	5回	4回	5回	4回	4回	5回
人 数	124名	94名	90名	119名	84名	111名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回診回数	4回	4回	5回	4回	4回	5回
人 数	119名	82名	85名	55名	86名	140名

【歯科医師の回診状況】

月1回協力歯科医（千葉明宏先生）に診察を受け、適切な処置や歯磨きの指導をしていただき、口腔内の清潔保持と口腔機能低下の予防に努めて参りました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
回診回数	0回	1回	2回	1回	1回	0回
人 数	0名	6名	5名	2名	5名	0名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回診回数	1回	1回	0回	0回	0回	0回
人 数	5名	4名	0名	0名	0名	0名

【理学療法士の指導状況】

個別リハビリの充実を図るため、月2回氏家理学療法士の指導でプログラムを作成し機能回復訓練を実施するとともに、入居者様それぞれに応じた筋力維持運動・関節可動域訓練を実施しました。また、日常生活の中で行うレクリエーションやクラブ活動を通して身体機能低下の予防を図りました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指導回数	2回	1回	2回	2回	2回	2回
人 数	17名	9名	13名	10名	16名	8名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
指導回数	1回	2回	1回	1回	2回	2回
人 数	8名	10名	8名	12名	14名	11名

【入院の状況】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	2名	1名	3名	3名	3名	1名	3名	3名	3名	4名	1名	1名	28名
外 科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
泌尿器科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
脳外科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
整形外科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名

【通院の状況】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	0名	0名	1名	2名	0名	0名	0名	0名	1名	0名	1名	1名	6名
外 科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
透 析	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名
整 形	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	1名	0名	0名	0名	4名
耳鼻科	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名
腎臓内科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
循環器	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	2名
脳外科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名

皮膚科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
眼科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	0名
歯科	1名	0名	0名	0名	1名	1名	1名	2名	0名	0名	0名	1名	7名
婦人科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
精神科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名

【結核健診の実施状況】

※令和3年2月15日付、宮城県結核予防会より胸部レントゲン撮影27名を実施。

(他2名：透析にて毎月1回撮影済み)

② 看護課 課題及び改善状況

看護課 令和2年度の課題
1. 入居者様のご家族に対して入居者様の健康状態が上手く伝わっていない。
課題を改善するために講ずる計画の概要
入居者の状態把握の為に居室への巡回に加え、入居者様とのコミュニケーションを取りながらその方の状態観察を行ってまいりました。また会議、委員会などに参加し、看護課としての情報の提供や介護その他の課からの情報収集にも努め、ご家族様の面会時や問い合わせがあった際は対応して参りました。また、機能の低下にならないよう、機能訓練指導員と連携し、日常でできる機能訓練の充実も図って参りました。今後も、入居者、ご家族に安心していただける医療サービスとサポートをして参りたいと思います。

(4) 栄養課

① 栄養管理部門の主な業務報告

毎日バランスの摂れた食事を安全面も考慮しながら無事に提供し続けることが出来ました。

給食だけでは行き届かない面は、定期開催のカフェや居酒屋の実施で入居者様の嗜好や要望をかなえた、こまやかな対応をすることが出来ました。他課との協力・連携あつての食事提供であるということを念頭に置き、今後もせくせらしい食事作りを心がけていきます。

【食事形態と提供給食数】

1. ユニット型 長期入居（定員：18名）

令和3年3月31日現在

月	常食	ソフト食	ムース食	ミキサー	軟菜食	経管	合計 (1日平均)
4月	21	21	6	0	6	0.0	54
5月	21	21	6	0	6	0.0	54
6月	21	18	9	0	6	0.0	54
7月	12	27	4	3	0	0.0	46
8月	12	27	4	3	0	0.0	46
9月	12	27	4	3	4	0.0	50
10月	12	27	4	3	4	0.0	50

11月	9	27	4	3	4	0.0	47
12月	9	27	2	3	4	0.0	45
1月	12	24	12	0	4	0.0	52
2月	12	24	12	0	2	0.0	50
3月	12	24	12	0	2	0.0	50
合 計	165	294	79	18	42	0.0	598

2. 従来型 長期入居（定員：14名）

令和3年3月31日現在

月	常食	軟菜	ソフト 食	ムース 食	ミキサ ー	経管	合 計 (1日平均)
4月	6	18	9	6	0	0.0	39
5月	6	18	9	6	0	0.0	39
6月	6	18	9	6	0	0.0	39
7月	3	15	6	6	6	0.0	36
8月	3	15	6	6	6	0.0	36
9月	6	15	6	6	6	0.0	39
10月	6	12	6	6	6	0.0	36
11月	6	12	3	6	6	0.0	33
12月	6	12	3	3	6	0.0	33
1月	9	15	6	3	0	0.0	33
2月	9	15	6	6	6	0.0	42
3月	9	15	6	0	6	0.0	36
合 計	66	180	87	60	48	0.0	441

3. 併設型短期入所生活介護（定員：10名）

令和3年3月31日現在

月	常食	ソフト 食	ムース 食	ミキサ ー	軟菜食	経管	合 計 (1日平均)
4月	24	6	6	0	0	0.0	36
5月	25	12	6	0	9	0.0	42
6月	15	12	6	0	0	0.0	33
7月	12	9	6	0	6	0.0	33
8月	15	12	6	0	3	0.0	36
9月	24	15	6	3	0	0.0	48
10月	12	21	6	3	0	0.0	42
11月	15	6	6	0	0	0.0	27
12月	0	12	6	0	0	0.0	18

1月	0	6	6	0	0	0.0	12
2月	6	15	9	0	12	0.0	42
3月	12	9	9	0	9	0.0	39
合 計	150	135	78	6	39	0.0	408

【行事食の提供状況】

行事食に関しては、季節毎に工夫を凝らし、普段とは一味違った食事を楽しんでもいただけるよう、心がけました。観桜会、長寿を祝う会の際には、弁当を提供し、いつもの食事と違う雰囲気味わっていただくことが出来、入居者様も楽しんで食事をされていました。

提供月日	行事食名	献立内容
4月11日	観桜会	赤飯、天ぷら、鰯の西京焼き、炊き合わせ、桜しゅうまい、果物盛り合わせ、茶碗蒸し
4月29日	昭和の日	ご飯、刺身、紅白テリーヌ、切り干し大根煮
5月10日	母の日	ご飯、温麺のすまし汁、刺身、わかめさっぱり和え、ジュース
6月1日	開設記念	そば、助六セット、天ぷら盛合、だし巻き卵、果物盛合
6月20日	母の日	稲荷ずし、すまし汁、レンコンはさみ揚げ、桜海老炒り卵、クレープ
7月7日	七夕	七夕ちらし寿司 京菜と豆腐のスープ 星ハンバーグ 杏仁豆腐
7月13日	海の日	冷やし中華
7月21日	土用の丑の日	うな重風、吸い物、海老ともやし炒め 柚子ゼリー
8月10日	山の日	おにぎり(2こ) 豚汁 卵焼き きんぴらごぼう
8月22日	納涼祭	ハムカツカレー ヨーグルト
9月13日		セレクトメニュー Aけんちんうどん Bゆかりご飯
9月16日	長寿を祝う会	バイキング
10月1日	十五夜	セレクトメニュー A月見うどん B 月見丼
10月6日	秋満喫献立	栗ご飯、すまし汁、サンマ塩焼き、筑前煮、サツマイモ甘煮
10月12日	体育の日	助六セット、具沢山汁、唐揚げ、厚焼き玉子、バナナ
10月21日	収穫祭	おにぎり、いも煮汁、さつまいもはっと
10月31日	ハロウィン	エビピラフ パンプキンスープ 南瓜ころっけ、ベーコン炒め、ジュース
11月3日	文化の日	ご飯 清汁 お刺身2点盛り 卵豆腐 甘酒
11月11日	ワールドグルメ韓国	ビビンバ、わかめスープ、チーズダッカルビ風、オイキムチ、ヤクルト
11月23日	勤労感謝の日	ねぎとろ丼 清汁 だし巻き卵 甘酒
12月24日	クリスマス	クリスマスメニュー
12月31日	年越し	ご飯、年越しそば、カレイ煮付け、野菜かき揚げ 茶碗蒸し

1月1日	元旦	あんこ餅、ずんだ餅、おせち3点盛、やわらか野菜豆
1月2日	2日	赤飯、引きな汁、筑前煮、おせち3点盛、パイン缶
1月3日	3日	ゆかりご飯、みそ汁、厚揚げの和風あんかけ、おせち3点、あんこ餅
1月7日	七草粥	七草粥、豚汁、鮭塩焼き、春菊ごま和え
1月10日	新年会	お寿司、天ぷら盛合、刺身2点盛り、炊き合わせ、茶碗蒸し、生菓子
1月15日	小正月	小豆粥、けんちん汁 桜海老と麩の干草焼き かぼちゃのそぼろ煮
2月2日	節分	散らし寿司、けんちん汁 イワシ団子のみぞれ煮 やわらかきんとき
2月11日	建国記念日	ご飯、清まし汁、刺身盛り合わせ 筑前煮、甘酒
2月14日	バレンタインデー	ケチャップライス クラムチャウダー ハートハンバーグ チョコババロア
3月3日	桃の節句	お桜ちらし寿司、吸い物 花形豆腐ハンバーグ 三色ゼリー
3月20日	春分の日	筍ごはん 春野菜の天ぷら 若竹煮、桜餅

【非常食の備蓄状況】

非常災害に備え、3日間9食分を備蓄しております。また、東日本大震災を教訓とし、調理方法など工夫を凝らした食事が提供できるよう、給食委員会の場を活用し整備して参ります。

食品名	数 量	食品名	数 量
災害用 S50 白飯(5 kg)	7 ケース	五目豆(BH)(48 個入)	1 ケース
災害用 S50 五目御飯(5 kg)	1 ケース	ひじき(BH)(48 個入)	1 ケース
イソップ 災害パン オレンジ(24 個入)	4 ケース	切干大根(BH)(48 個入)	1 ケース
レスキュー みそ汁(24 個入)	10 ケース	かぼちゃいとこ煮(BH)(48 個入)	1 ケース
コーンポタージュ(30 個入)	2 ケース	里芋いか煮 (48 個入)	2 ケース
レスキュー ウィンナーと野菜のスープ煮(24 個入)	2 ケース	朝からフルーツミックス(24 個入)	4 ケース
おいしい防災食 豚汁(50 個入)	2 ケース	朝からフルーツ杏仁(24 個入)	1 ケース
レスキュー 鶏そぼろ(24 個入)	2 ケース	おいお茶(30 本入)	4 ケース
レスキュー 牛肉大和煮(24 個入)	2 ケース	野菜生活 100 オリジナル(30 本入)	2 ケース
レスキュー 鶏肉うま煮(24 個入)	2 ケース	レスキュー中華丼の素(24 個入)	2 ケース
徳用ビーフカレー ジャンボサイズ(9 kg)	1 ケース	白粥(30 食入)	3 ケース

サバのみそ煮 EO(48 個入)	1 ケース	さんま味付生姜風味(48 個入)	1 ケース
いわし味付け EO(48 個入)	1 ケース	立山の天然水 5 年保存(21×6 本)	5 ケース
サトイモいか(BH)(48 個入)	1 ケース	5 年保存水(1.5l×8 本)	4 ケース

※ 3 日分の非常食となります。

② 栄養課 課題及び改善状況

栄養課 令和 2 年度の課題
1. 入居者様との時間を大切になじみの関係を構築していく 2. 厨房スタッフのレベルアップの為に研修（内、外問わず）の機会を確保する。 3. 行事食の内容を充実させ入居者様に食事から季節感や特別感（非日常）を味わって頂く。
課題を改善するために講ずる計画の概要
①担当制を発揮し食事はもちろん、食事外の事でも入居者様の状況を把握し良く努力する理解を行っていく。コロナ感染もあり、各ユニットでの調理、提供は難しい状態が続き、担当制を発揮することが困難だった。 ②研修に参加して終わりではなく、施設内では、どのように生かせるのか研修に参加したスタッフを中心に話し合い、取り組む。コロナ過という事もあり、研修自体なくまた栄養課人員不足が解消されず、研修に時間をかける事が困難だった。 ③季節を感じられる行事食を中心に入居者様に楽しんでいけるよう、他課と連携しながら協力していく。コロナ過でも季節を感じられる食事提供を心掛け、観桜会や新年会で弁当の提供、季節ごとにコーンご飯や栗ご飯、さつま芋ご飯等提供し、利用者様に季節を感じられる食事提供が出来た。

(5) 介護課

入居者様の笑顔が少しでも見れるように昨年度同様に、24 時間シートの作成に力を入れて参りました。しかし、なかなか活用がうまくできていないことがありました。時間に追われてしまい、職員一人ひとりがきちんとした配慮ができ、社会人としての気づき配慮等恥ずかしくない行動が取れるように行いたいと思います。ご家族様の満足度やサービスの向上に努めて参ります。今後も入居者様のための自立支援に繋がれるように「基礎、土台」とともに学んで参りたいと思います。

また、以前から導入しておりました、介護機器・眠りスキャンについてもご家族様の安心に繋がれるように、今後も活用してまいりたいと思います。

【入浴の実施状況】

ユニット名	入浴種別	3月31日
8名棟	一般浴	0名
	中間浴	6名
	特 浴	1名

【全体の状況】

入浴種別	対象者数
一般浴	0名

10名棟	一般浴	0名
	中間浴	7名
	特 浴	2名
従来棟	一般浴	7名
	中間浴	0名
	特 浴	5名

中間浴	13名
特 浴	14名

ユニット別の特徴及び考察

入居者1名に対し、週2回以上の入浴を実施している。体調不良などにより入浴できない場合は、代替えとして全身清拭、部分清拭を行っている。各ユニット毎の入浴介助における特徴及び考察については、以下の通りです。

○8名棟

- ・歩行、立位を保持される方については、ユニット内の個浴にて入浴されています。
- ・立位不可でも、座位が保てる方は、中間浴にて入浴されています。
- ・立位、座位が保てない方は、特浴にて状態に合わせて入浴されています。
- ・体調等入浴出来ない場合は入浴日変更、もしくは清拭の代替え対応しております。

○10名棟

- ・歩行、立位を保持される方については、ユニット内の個浴にて入浴されています。
- ・立位不可でも、座位が保てる方は、中間浴にて入浴されています。
- ・立位、座位が保てない方は、特浴にて状態に合わせて入浴されています。
- ・体調等入浴出来ない場合は入浴日変更、もしくは清拭の代替え対応しております。

○従来棟

○従来棟

- ・立位、座位保持可能な方は、個浴にて入浴されています。
- ・立位、座位保持できない方は、特浴にて入浴されています。
- ・ご本人様の心身の状況、本人様の希望や意向に合わせシャワー浴を実施しています。
- ・ショートステイをご利用の方は、本人様の希望によりユニットの中間浴を使用します。

【ユニット別 排泄状況】※1日をとおしたケアにおいて、対象人数を記載。

ユニット別	介助別	3月31日現在
8名棟	おむつ交換	3名
	トイレ誘導	4名
	排泄介助	7名
	留置カテーテル	1名
計		15名
10名棟	おむつ交換	7名
	トイレ誘導	3名
	排泄介助	10名

	留置カテーテル	0名
	計	20名
従来棟	おむつ交換	4名
	トイレ誘導	1名
	排泄介助	5名
	留置カテーテル	0名
	計	10名

ユニット別の特徴及び考察

○8名棟

- ・尿意、便意がある方は、訴え時トイレ誘導を行い排泄されています。
- ・尿意、便意がなく歩行可能な方は、その方のリズムに合わせトイレ誘導を行い、排泄介助を行っています。
- ・尿意、便意がなく立位困難な方は、オムツにて対応しています。
- ・入居者個々の状況に合わせたトイレ誘導、オムツ交換を実施しています。
- ・入居者個々の排泄量、皮膚の状態等に配慮し、パッドの種類を使い分けています。

○10名棟

- ・尿意、便意がある方は、訴え時トイレ誘導を行い排泄されています。
- ・尿意、便意がなく歩行可能な方は、その方のリズムに合わせトイレ誘導を行い、排泄介助を行っています。
- ・トイレ誘導については、訴え、または排泄シグナルを見落とさず、実施しています。
- ・入居者個々の状況に合わせたトイレ誘導、オムツ交換を実施しています。
- ・入居者個々の排泄量、皮膚の状態等に配慮し、オムツの種類を使い分けています。

○従来棟

- ・歩行、立位可能な方は、定時のトイレ誘導、声掛けにて対応しています。
- ・歩行、立位出来ない方は、定時のオムツ交換にて対応しています。
- ・入居者個々の状況に合わせたトイレ誘導、オムツ交換を実施しています。
- ・入居者個々の状況により夜間オムツ交換の方でも日中職員2名にて、トイレ介助を行っております。
- ・入居者個々の排泄量、皮膚の状態等に配慮し、オムツ、パットの種類、オムツの回数を検討し、対応しております。
- ・尿意、便意がある方は、訴え時トイレ誘導を行い排泄されています

【ユニット別 食事介助状況】

ユニット別	介助別	3月31日現在
8名棟	全介助	0名
	一部介助	5名
	自立（セッティング）	2名
	計	7名

10名棟	全介助	1名
	一部介助	4名
	自立（セッティング）	5名
計		10名
従来棟	全介助	3名
	一部介助	3名
	自立（セッティング）	6名
計		12名

ユニット別の特徴及び考察

○8名棟

- ・自立の方は、個々の食べるペースを尊重し、見守りを行っています。
- ・途中で手が止まってしまう方には声掛け、又一部介助にて対応しています。
- ・居室で食べたい方へは定期的に巡回し見守りしながら安全に食事が食べられるよう、配慮しております。

○10名棟

- ・基本的に提供時間は決まっていますが、食事提供時間内でそれぞれ好きな時間に食べて頂いています。また、出来る限りご自分で食べて頂けるよう、声掛け、配慮しながら必要時に介助行っております。
- ・入居されている方の楽しみでもあり、生命の維持に重要な『食べる』を大切に職員同じ思いで食事の時間を提供させて頂いています。入居者個々のペースで、ゆっくり落ち着いて、楽しい雰囲気の中で、環境にも配慮しながら食事を提供できるよう、努めています。

○従来棟

- ・配膳、セッティングは職員が行い、自力摂取を基本とし、見守り、声掛けを中心に食事ケアを実施しています。
- ・食べこぼしや途中で手が止まってしまう方には、見守りや声掛けを行い、可能な限り自力摂取できるように促し、自力摂取、一部介助、全介助と見守りながら介助しています。
- ・離床が負担になり、居室で食べたい方、一人でゆっくり食べたい方等居室でご本人の要望に応じた対応を心掛けています。
- ・入居者の状態や意向をお聞きしながら、嗜好品を購入して対応しております。又本人様の状態に合わせて一口大の大きさ、むせ込み防止の為トロミ等を入れて対応しております。

【ユニット別 余暇活動実施状況】

ユニット/月	余暇活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ユニット	外出支援	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
	お菓子作り	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1
	誕生会	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	9
	ユニット行事	1	2	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	9
	個別外出	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
従来棟	ユニット行事	2	1	2	1	1	1	2	2	0	1	0	2	15
合計		4	4	3	3	3	2	4	5	0	2	0	2	32

【ひやりはっと・事業報告状況（ユニット別）】

昨年同様、介護ロボット（眠りスキャン）の導入で居室内での状況、睡眠状態を以前より把握できております。しかしショート入居者様の行動に対しは特に、環境変化に伴い予測ができないことがあります。ヒヤリハット報告件数が少なく、事故の件数が多く職員の日々の気づきを大切にして今後も事故の発生を未然に防ぐ為のヒヤリハットを多くして、施設職員全体での危険予知トレーニングを実施します。委員会や棟会議等で職員の危険に対する意識を高めながら、職員全員が共通認識を持ち、事故防止に努めていきたいと思っております。

ユニット/月	余暇活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
8名棟	ヒヤリハット	3	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	0	10
	事故報告	0	2	2	0	0	0	0	1	0	1	3	0	9
10名棟	ヒヤリハット	5	4	3	1	0	0	2	3	0	2	5	0	25
	事故報告	2	1	3	1	0	3	2	0	2	0	1	2	17
従来棟	ヒヤリハット	3	4	2	6	11	3	4	2	2	0	3	3	43
	事故報告	6	10	3	5	7	5	2	3	2	1	9	1	54
合計		16	23	15	15	20	12	13	10	6	4	22	6	162

②課題及び改善状況

ユニット型 8・10名棟

ユニット型 8・10名棟 令和2年度の課題
① 入居者の方々と寄り添いの時間が取れずその人が必要とするケアに職員が気づいていない。
② 活動量の減少によりADLの低下、介護量が増加している。
③ ユニット空床となっていた期間が長かった。

課題を改善するために講ずる計画の概要

① 入居者が笑顔で毎日楽しい生活を送れるように寄り添いの時間を大切にする
24 時間シートを活用し、時間の有効活用にも力を入れ、どう毎日を笑顔で送っていただけるかを考えながらケアにあたって参りました。職員間での意識の統一や一定レベルでのサービス提供が不足していた為、今後の課題とし人材育成を強化していきたいと思っています。

② 入居者が自立した生活を送れるよう必要な分の介助を提供し、活動量を増やし A D L の維持、低下を防止する。
活動量を増やすということでは、毎日のラジオ体操や、ユニット行事にてレクリエーションを兼ねて体を動かすということを取り組んで参りました。体を動かしながら入居者の楽しみとなっており、「笑顔」も見られました。コロナ禍ということもあり、カラオケなど音楽をかけるのみの対応としておりました。今後も重度化防止の観点でも、今の A D L の維持・低下防止に繋がられるよう支援して参ります。

③空床を作らないようチームケアを大切にする
ユニットの空床利用にあたっては、空床にならないよう相談員とも連携を取り少しでも家族様の負担軽減にも繋げて参りました。令和 2 年度は長期の方で入院される方も多く、空床を作ってしまった。今後も日々の観察力とすばやい対応をし、入居者、ご家族様に「安心」して過ごしていただけるようなサービスの提供に邁進してまいります。

従来棟（多床室）

従来型（多床室） 令和 2 年度の課題

- 1.入居者様一人一人と向き合う時間が不足している。
- 2.余暇活動及びレクリエーションに応じた機能訓練が上手くできていなかった。

- 1.職員同士が上手くコミュニケーションを取り、よりよいサービス向上を目指します。

入居者様の状態の変化を職員同士申し送り、夕方のミーティング、棟会議を利用して職員同士が同じケア出来るように情報提供を図ってまいりました。入居者様の日頃の状態変化等は事細かに話合うとの事ができ、職員間のコミュニケーション不足に繋がったと思います。感染予防を行いながら z o o m を利用した会議等を開催いたしました。今後も、感染対策を行いながら入居者様の変化により早く気づけられるようにして参ります。

- 2.残存機能の維持に努めながらカラオケ機器を使い、歌をうたいながら体を動かし下肢筋力低下などを防ぐ

感染予防対策を行いながら、毎日をラジオ体操や棟行事ミニ運動会等を活用し、少しでも体を動かして頂けるように努めて参りました。コロナ禍の為、カラオケを使って歌う事は少し少なくなりましたが、カラオケの音楽を聴きながら体を動かしたりして頂き、笑顔が見られておりました。今後もADLの維持、低下の防止に繋がられるように努めて参ります。

5. 特別養護老人ホームせくれ～Secure～ 各会議の開催状況

会議名	参加者職氏名	開催日	会議内容
1. 運営推進会議	・登米市福祉事務所 長寿介護課担当職員 ・迫町地域包括支援センター 管理者様 ・新田駅前地区 区長 石川法夫様 ・新田駅前地区民生委員 佐藤由美子様 ・せくれ家族会会長 酒井俊則様 ・入居者代表3名 ☆岩渕あすか施設長 ・近藤美喜事業係長 ・佐藤敦充全体主任 ・菅原有佑全体主任 ・及川雅敏部署主任 ・菅原洋子看護責任者 ・齊藤可織栄養士 ・櫻井順子栄養士	令和 2年 6月 26日 令和 2年 8月 27日 令和 2年 10月 30日 令和 2年 12月 25日 令和 3年 3月 26日 ※新型コロナウイルス感染症対策により、令和2年2月以降の開催については中止。(登米市福祉事務所と協議の上、中止を決定) ※中止の場合、運営推進会議の取り扱いについて、文書等で情報提供・報告・意見照会等代替措置を行う。(令和2年9月 登米市より通知) ※内容について書面にて各構成員の皆様に送付。	・法人及び施設の概要説明 ・年間事業計画及び事業報告 (看護課、介護課、栄養課、相談課、事務課より) ・運営推進会議規約及び構成員の承認について ・入居者現況報告 ・ひやりはっと、事故報告 ・苦情意見及び改善状況報告 ・行事計画及び実施報告 (納涼祭、新年会、敬老会等) ・総合防災訓練実施報告 ・研修参加状況報告 ・実地指導監査報告について ・クラブ活動実施計画について ・地域における公益的な取り組み活動方法について ・脱水対策について ・感染症対策報告について ・各構成員より (意見交換)
2. 地域協力員会議	・地域協力員 ・岩渕あすか施設長 ☆阿部健治防火管理者 ・菅原有佑全体主任 ・及川雅敏部署主任 ・氏家健一 ・小林克彦 ・岩渕聡史	令和 2年 6月 25日 令和 2年 10月 22日 令和 2年 3月 25日 ※新型コロナウイルス感染症対策により、令和2年3月以降の開催については中止。(登米市福祉事務所、地域協力員と協議の	・地域協力員の紹介 ・総合防災訓練計画及び実施報告について ・緊急時の連絡体制について ・各ユニット毎による、入居者の現況報告、避難誘導時の入居者対応の注意点 ・総合防災訓練の反省点 ・パッケージ型消火栓を使用

		令和 2年7月27日	・入居者様情報共有 ・主任・リーダーより報告事項 ・コロナウイルスマニュアル読み合わせ ・法人理念読み合わせ ・入居者様情報共有 ・主任・リーダーより報告事項
		令和 2年 8月21日	・コロナウイルスマニュアル読み合わせ ・法人理念読み合わせ ・入居者様情報共有 ・主任・リーダーより報告事項
		令和 2年9月28日	・法人理念読み合わせ ・入居者様情報共有 ・主任・リーダーより報告事項
		令和 2年10月23日	・権利擁護・コンプライアンスの目的とは ・法人理念読み合わせ ・入居者様情報共有 ・主任・リーダーより報告事項
		令和 2年11月20日	・法人理念読み合わせ ・入居者様情報共有 ・主任・リーダーより報告事項
		令和 3年 1月26日	・法人理念読み合わせ ・入居者様情報共有 ・主任・リーダーより報告事項
		令和 3年 2月19日	・法人理念読み合わせ ・入居者様情報共有 ・主任・リーダーより報告事項
5. ユニット会議 【従来棟】	・近藤美喜事業係長 ・北浦佳代リーダー ・各従来棟職員 ※各課職員については必要に応じ参加することとする。	令和 2年4月23日	・入居者様の現況報告 ・カンファレンスの入居者について ・来月の行事について ・基礎土台、施設計画方針、施設理念、読み合わせ ・役職者会議から ・令和2年度の全体行事について
		令和 2年 5月25日	・カンファレンスの入居者について ・勉強会（個人情報管理規則、

			個人情報保護マニュアル、苦情処理解決に関する規則) ・役職者会議から ・来月の行事について ・事業計画の読み合わせ ・業務について検討事項 ・入居者様の現況報告
		令和 2 年 6 月 22 日	・勉強会（職員同士の視点について ・各担当から ・業務について ・カンファレンスの入居者について ・事業計画について ・役職者会議より報告・ ・入居者様の現況報告
		令和 2 年 7 月 21 日	・コロナウイルスの発生対応について ・役職者会議より ・カンファレンスの入居者について ・業務について ・今年度の事業計画について ・来月の行事について ・入居者様の現況報告
		令和 2 年 8 月 21 日	・役職者会議より ・カンファレンスの入居者について ・業務改善について ・基礎土台読み合わせ ・来月の行事について ・入居者について ・勉強会（中堅職員研修について）
		令和 1 年 9 月 28 日	・来月の行事について ・夜間緊急時の対応について ・業務について ・入居者様について ・基礎土台の読み合わせ

			・入居者様の現況報告 ・役職者責任者会議より
		令和 2年10月27日	・基礎土台の読み合わせ（権利擁護） ・行事について ・入居者について ・業務改善について
		令和 3年 1月21日	・カンファレンスの入居者について ・来月の行事について ・基礎土台（職員ルールの読み合わせ） ・役職者会議より報告 ・コロナウイルスについて ・業務改善について ・事業計画について案
		令和 2年 2月19日	・入居者様の現況報告 ・カンファレンスの入居者について ・来月の行事について ・リスク委員会より ・役職者会議より報告 ・サービス向上について
		令和 3年 3月22日	・基礎、土台についての読み合わせ ・カンファレンスの入居者について ・入居者の様子について ・業務について

6. 特別養護老人ホームせくれ～Secure～ 委員会の開催状況

施設全体の生活支援を構築する上で、職員各々が検討する場所が確立されることで『バランスのとれた入居者本位のサービス』へ繋がると捉え、入居者の人権の尊重を推進すると共に生活全般について、それぞれ調査・検討及び実践する機関及び各課の共通認識・連携を図る場所として以下の各委員会を開催した。

(令和3年3月31日現在)

委員会名	参加者職氏名	開催日	委員会内容
1. 防火対策委員会	・岩淵あすか施設長 ☆阿部健治防火管理者 ・菅原有佑全体主任 ・及川雅敏部署主任 ・氏家健一	令和 2年 5月19日	・夜間通報訓練の実施 ・夜間通報訓練の振り返り
		令和 2年 6月19日	・夜間通報訓練の反省及び振り返り ・前年度総合防災委員会 講評・振り返り

	・小李克彦 ・岩淵聡史 ※コロナウイルス感染症対策により、令和2年3月以降の開催については中止。 (登米市福祉事務所、地域協力員と協議の上、中止を決定)		・防災訓練内容の検討 ・消化機器類の点検 ・防災委員会の事前実施・振り返り ・総合防災訓練
		令和2年10月16日	・前回総合防災訓練講評・振り返り ・防災訓練内容の検討 ・消化機器類の点検 ・防災委員会の事前実施・振り返り ・総合防災訓練
2. 安全衛生・感染予防対策委員会	・岩淵あすか施設長 ☆菅原洋子看護責任者 ・近藤美喜事業係長 ・及川雅敏部署主任 ・櫻井順子栄養士 ・前田優也 ・高橋花菜 ・遠藤亜耶	令和2年4月16日	・コロナウイルスについて - 入所施設のコロナウイルス感染時の対応について周知
		令和2年4月28日	・新型コロナウイルス流行と対策について
		令和2年6月16日	・作業環境の衛生に関する調査について ・健康診断について ・感染症マニュアルについて ・マスク着用について ・施設内環境ラウンドについて
		令和2年6月23日	・介護保険施設における感染症リスクマネジメントについて ・手洗い/手指衛生の重要性と方法 ・標準予防策と環境衛生について
		令和2年7月14日	・食中毒予防における5つのポイント、感染予防対策における標準予防策と環境衛生の徹底についての研修実施。
		令和2年7月20日	・新型コロナウイルス感染症への対応について ・障害福祉サービス等事業所における新型コロナウイルス感染症への対応について ・介護保険施設等における感染症のリスクマネジメントについて ・新型コロナウイルス感染症対応の流れについて
		令和2年8月12日	・新型コロナウイルス感染症対応の流れ ・介護サービス等における感染対策について

			・介護・福祉現場における感染対策のポイントについて
		令和2年8月19日	・感染症マニュアルについて ・新型コロナウイルス感染症について ・施設内ラウンド結果について
		令和2年10月20日	・環境チェックシートについて ・コロナウイルス感染について ・インフルエンザについて
		令和2年11月19日	・新型コロナウイルス感染症対策研修報告（気仙沼、登米保健所）
		令和2年12月25日	・施設内感染対策の変更点 ・換気について ・オムツ交換の対応方法
		令和3年 2月17日	・感染対策に係るチェックリストの集計結果について ・コロナウイルスマニュアルの変更について ・感染マニュアルの見直し変更について ・PPE着脱研修について ・その他
3. 給食委員会	・岩渕あすか施設長 ☆櫻井順子栄養士 ・近藤美紀事業係長 ・及川雅敏部署主任 ・菅原可偉 ・氏家健一	令和2年 4月 3日	・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・年間予定の説明・確認
		令和 2年 6月 4日	・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・脱水予防について（試飲あり）
		令和 2年 8月 14日	・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・各食形態について
		令和 2年10月 2日	・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・とろみ剤の使用法について（試飲あり）
		令和 2年12月 4日	・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・感染症食器の取り扱いについて
		令和 3年 2月 5日	・行事食について

			・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・食事介助について
4. 広報・行事委員会	☆今野健太 ・佐藤教充全体主任 ・菅原有佑全体主任 ・及川雅敏部署主任 ・尾形信衛リハビリター ・前田優也	令和2年 4月 2日	・観桜会について
		令和2年 4月 5日	・全体行事役割分担について
		令和2年 4月 16日	・観桜会の実施
		令和2年 4月 20日	・観桜会の振り返り
		令和2年 7月 9日	・家族会総会・合同お茶会について ・去年度と今年度の変更点 ・当日スケジュール確認 ・出し物について
		令和2年 7月 23日	・お茶会の実施 従来：マスク作り、カラオケ ユニット：マスク作り、歌と踊り、マジックショー ・家族会総会・お茶会の振り返り
		令和2年 8月 7日	・家族会 24 時間シート聞き取りアンケートの送付
		令和2年 8月 15日	・納涼祭について ・当日スケジュール確認 ・目的、日時、時間の確認 ・役割分担について ・出し物について
		令和2年 8月 21日	・花火大会実施
		令和2年 8月 22日	・納涼祭実施
		令和2年 8月 28日	・納涼祭振り返り
		令和2年 9月 1日	・敬老会について ・当日のスケジュール確認 ・役割分担について
		令和2年 9月 20日	・敬老会実施
		令和2年 10月 9日	・収穫祭について ・当日スケジュール確認 ・役割分担について
		令和2年 10月 21日	・収穫祭実施
		※12月コロナウイルス発生の為、12月、1月、2月、3月の行事の一切を中止している。	
5. リスクマネジメント・サービス向上委員会	岩淵あすか施設長 ☆近藤美喜事業係長 佐藤教充全体主任 ☆及川雅敏部署主任 ☆菊池誠志介護支援専門員 ☆櫻井順子栄養士	令和2年 4月 23日	・委員会年間活動計画について ・現状におけるサービス提供上の課題及び要望について ・事故・ヒヤリハットの分類と対策について ・危険予知トレーニングについての報告 ・施設内身体拘束廃止に関する指針
※委員会の内容 ・苦情処理に関すること			

・事故防止に関すること ・身体拘束に関すること ・施設サービス全般の向上に関すること			- の確認 ・身体拘束の有無 ・定義されていない入居者の言動の制限等の有無について ・マニュアルの確認
		令和 2年 6月 18日	・苦情内容の確認、 ・苦情再発防止策の確認 ・事故・ヒヤリハットの分類と対策について、今後につなげるためにどうするか ・施設内身体拘束状況の把握、確認 ・身体拘束の有無
		令和 2年 8月 20日	・苦情報告と対応方法の検討 ・事故・ヒヤリハットの分類と対策について ・施設内身体拘束廃止に関する指針の確認 ・身体拘束の有無 - 身体拘束禁止の対象となる具体的な行為について
		令和 2年 10月 15日	・苦情報告と対応方法の検討 ・事故・ヒヤリハットの分類と対策について ・危険予知トレーニングについて ・施設内身体拘束廃止に関する指針の確認 ・身体拘束の有無
		令和 2年 1月 8日	・苦情報告と対応方法の検討 ・事故・ヒヤリハットの分類と対策 ・身体拘束の有無 ・危険予知トレーニングについて
		令和 2年 2月 18日	・苦情報告と対応方法の検討 ・事故・ヒヤリハットの分類と対策 ・身体拘束の有無 ・施設、事業所の虐待防止対応 ・令和2年度の反省
6. 入居判定委員会	・岩淵あすか施設長 ・近藤美喜事業係長 ・佐藤教充全体主任 ☆及川雅敏部署主任 ☆菊池誠志介護支援専門員 ・阿部健治ユニットリーダー ・佐藤裕一看護師 ・菅原洋子看護責任者	令和 2年 5月 29日	・今年度の委員会活動予定について ・入居者及び入居待機者状況について ・入居待機者の優先度判定、その他
		令和 2年 8月 28日	・入居者及び入居待機者状況について ・入居待機者の優先度判定、その他
		令和 2年 11月 27日	・入居者及び入居待機者状況について ・入居待機者の優先度判定、その他
		令和 3年 2月 26日	・入居者及び入居待機者状況について

	・櫻井順子栄養士 ・嘱託医 ・法人監事 (第三者委員)		・入居待機者の優先度判定、その他 ・来年度の開催日程の確認
7. 褥瘡防止委員会	・岩淵あすか施設長 ☆菅原洋子看護責任者 ☆佐藤裕一看護師 ・近藤美喜事業係長 ・及川雅敏部署主任 ・櫻井順子栄養士 ・前田優也 ・遠藤亜耶 ・高橋花菜	令和2年 4月28日	・褥瘡の好発部位と良肢位について ・褥瘡予防ケア ・褥瘡現状報告 ・その他
		令和2年 6月16日	・ハイリスク者 ・褥瘡発生者報告 ・各課からの情報交換 ・その他協議事項
		令和2年 8月20日	・褥瘡の現状報告 ・褥瘡に関するケア計画書・褥瘡について ・エアマットの使用法 ・各課との情報交換 ・その他
		令和2年11月19日	・褥瘡現状報告 ・各課との情報交換 ・褥瘡予防ケア ・その他
		令和3年2月16日	・現状報告 ・褥瘡リスクに関する調査結果 ・各課との情報交換 ・その他
8. イキイキ生き甲斐委員会 (平成31年度新設)	・岩淵あすか施設長 ☆菅原有佑全体主任 ・及川雅敏部署主任 ・齊藤可織栄養士 ・櫻井順子栄養士 ・菅原洋子看護責任者 ・佐藤裕一看護師 ・高橋花菜 ・小林克彦	令和2年 5月 5日 令和2年 8月 4日 令和2年11月 3日 令和3年 2月 2日 ※3ヶ月に1回開催	・委員自己紹介 ・委員会年間計画について ・介護ロボット研修について ～基本操作と活用方法～ ・介護ロボット使用状況について 各課より ・ロボット使用アンケートについて ・ワークショップ 【職員の働きやすい環境を作るための行動策】 ・その他(各委員より)

※☆印は委員会の委員長及び担当者とする。☆印の多数の委員会については、委員長を互選で決定することとする。

7. 職員の資質向上策と福利厚生

社会福祉施設における役割には大きな期待が寄せられております。それに応える職員の資質向上と変化の激しい福祉施設のニーズの多様化に対応するため各種研修会へ積極的に参加し、職員間の連携と共通認識をより深めるため、内部研修も開催して参りました。また、人間性を重視した人材の育成に力を入れ、福祉施設の専門職員としての自覚と資質の向上に努めるとともに、職務に関連した資格取得の励行に努めて参りました。

(1) 外部研修

(令和3年3月31日現在)

日 時	研 修 名	研修場所	主 催 者	参加職員名
令和2年度	社会福祉施設長資格認定講習会	神奈川県	全国社会福祉協議会	1名
4月1日～	介護福祉士実務者研修	登米市	(株)JMTC	1名
6月1日～	介護福祉士実務者研修	登米市	(株)JMTC	1名
7月10日	令和2年度社会福祉施設中堅・監督職員研修	仙台市	宮城県社会福祉協議会	1名
7月31日	令和2年度クレーム対応研修・基礎編	仙台市	宮城県社会福祉協議会	1名
8月25日～ 9月25日	眠りスキャン基本操作・活用術研修	特別養護老人ホームせくれ	パラマウントベッド	31名
令和3年 1月14日・ 15日	ユニットリーダー研修 (zoomによるオンライン研修)	特別養護老人ホームせくれ	全国個室ユニット型施設推進協議会	1名
令和3年 1月22日	宮城県キャリアパス研修・高次機能障害 (zoomによるオンライン研修)	特別養護老人ホームせくれ	宮城県介護福祉士会	1名
令和3年 1月23日	宮城県キャリアパス研修・他職種理解 (zoomによるオンライン研修)	特別養護老人ホームせくれ	宮城県介護福祉士会	2名
令和3年 1月25日	宮城県キャリアパス研修・制度の理解 (zoomによるオンライン研修)	特別養護老人ホームせくれ	宮城県介護福祉士会	2名
令和3年 2月2日	令和2年度OJT指導者フォローアップ研修 (zoomによるオンライン研修)	特別養護老人ホームせくれ	宮城県社会福祉協議会	1名
令和3年 2月10日	宮城県キャリアパス研修・高次機能障害 (zoomによるオンライン研修)	特別養護老人ホームせくれ	宮城県介護福祉士会	1名
令和3年 2月15日	令和2年度OJT指導者養成研修 (zoomによるオンライン研修)	特別養護老人ホームせくれ	宮城県社会福祉協議会	1名
令和3年 2月20日	宮城県キャリアパス研修・認知症の理解 (zoomによるオンライン研修)	特別養護老人ホームせくれ	宮城県介護福祉士会	1名
令和3年 2月24日	宮城県高齢者権利擁護推進員養成研修 (zoomによるオンライン研修)	特別養護老人ホームせくれ	宮城県福祉オンブズネット「エール」	1名
令和3年 3月2日	ユニットケアポイントセミナー・看取り介護 (zoomによるオンライン研修)	特別養護老人ホームせくれ	全国個室ユニット型施設推進協議会	2名
令和3年 3月3日	パラマウントベッド・床ずれ対策セミナー (zoomによるオンライン研修)	特別養護老人ホームせくれ	パラマウントベッド	6名
令和3年 3月4日	パラマウントベッド・床ずれ対策セミナー (zoomによるオンライン研修)	特別養護老人ホームせくれ	パラマウントベッド	6名
令和3年 3月5日	宮城県キャリアパス研修・セフィマサポート (zoomによるオンライン研修)	特別養護老人ホームせくれ	宮城県介護福祉士会	1名
令和3年	ユニットケアポイントセミナー・ユニット費の使い方	特別養護老人	全国個室ユニット型	2名

3月9日	(zoomによるオンライン研修)	ホームせくれ	施設推進協議会	
令和3年 3月10日	宮城県キャリアパス研修・フィジカルアセスメント (zoomによるオンライン研修)	特別養護老人 ホームせくれ	宮城県介護福祉士会	1名
令和3年 3月11日	宮城県キャリアパス研修・認知症の理解 (zoomによるオンライン研修)	特別養護老人 ホームせくれ	宮城県介護福祉士会	1名
令和3年 3月23日	ユニットケアポイントセミナー・ユニットリーダーとは (zoomによるオンライン研修)	特別養護老人 ホームせくれ	全国個室ユニット型 施設推進協議会	1名
令和3年 3月30日	ユニットケアポイントセミナー・地域との関わり (zoomによるオンライン研修)	特別養護老人 ホームせくれ	全国個室ユニット型 施設推進協議会	2名

※新型コロナウイルス感染症拡大蔓延防止のため、オンライン（zoom等）を利用した研修へ参加。

(2) 内部研修

施設サービスの向上と各課、職員個々のスキルアップを目的とし、講師又は施設職員を中心とし、特別養護老人ホームせくれ～Secure～所内研修会を開催致しました。

日 時	研 修 名	研修場所	主 催 者	参加職員名
4月14日	身体拘束研修	特別養護老人 ホームせくれ	近藤美喜事業係長	職員 5名
6月3～5日	感染症対策手洗い研修	特別養護老人 ホームせくれ	菅原看護責任者	職員 34名
6月23日	介護保険施設における感染症のリスク マネジメント、手洗い、手指消毒の重 要性、標準予防策と環境衛生	特別養護老人 ホームせくれ	菅原看護責任者	職員 14名
7月14日	食中毒における6つのポイント 感染予防対策における標準予防策と環 境衛生について	特別養護老人 ホームせくれ	菅原看護責任者	職員 14名
8月11日	認知症の研修	特別養護老人 ホームせくれ	佐藤全体主任	職員 6名
10月13日	社会人としてのマナー研修	特別養護老人 ホームせくれ	近藤事業係長	職員 8名
11月19日	コロナウイルス感染症対策について	特別養護老人 ホームせくれ	近藤事業係長	職員 9名
随 時 ※職員入職時	新人職員研修	特別養護老人 ホームせくれ	各役職者（係長、 主任職以上）	随時 ※職員入職時

(3) 職員の福利厚生の実施内容

職員の健康管理と施設内感染の予防を目的とし、健康診断及びインフルエンザ予防接種並びに
腰椎検査、感染症対策へ万全を期してきました。（令和3年3月31日現在）

健康診断	対象者：全職員 受診数：35名	場所：サンクリニック
------	--------------------	------------

腰椎検査	対象者：直接処遇職員 受診数：14名	場所：サンクリニック
インフルエンザ予防接種	対象者：全職員 接種者数：33名	場所：特別養護老人ホームせくれ
ノロウイルス検査	対象者：栄養課・厨房職員 受診数：4名	場所：特別養護老人ホームせくれ
腰痛予防サポートジャケット	対象者：全職員	職員介護負担軽減対策として整備

8. 避難訓練の実施状況

発見、消火、通報、避難誘導の基本を職員一人一人が理解することで、非常時においても適切な対応が図れるよう、以下のとおり避難訓練を実施致しました。

(1) 避難訓練の内容

(令和3年3月31日現在)

月 日	訓練内容	出火場所	参加者数		所要時間
			入居者	職 員	
6月19日	消防署不参加総合防災訓練（通報訓練・消火訓練・避難誘導訓練）	厨 房	34名	21名	15分 35秒 ※夜間想定
10月16日	消防署不参加総合防災訓練（通報訓練・消火訓練・避難誘導訓練）	厨 房	37名	25名	14分 32秒 ※夜間想定

※新型コロナウイルス感染症拡大蔓延防止のため、消防署及び地域協力員は不参加。

(2) 振り返り及び講評

出火場所から遠くへ迅速に避難誘導ができており、訓練を重ねるごとにできていると思います。より避難誘導を効率的に行うには「声がけ」「緊張感」「有事への備え」が必要です。「声がけ」では、職員同士での声の掛け合いができておらず、動きにばらつきと無駄が生じているように感じます。「緊張感」については、以前にも消防署からの講評にもあったとおり、訓練だからといって油断せず訓練要項のとおりするのではなく、実際の火災を想定して訓練にあたる必要があります。「有事への備え」についても、実際の災害に備え、常日頃から職員同士で協力体制を取るなど備えも必要です。備えの一つとして、避難誘導がしやすいように、廊下や出入口に避難の障害となる物を置かないなど環境整備にも心掛けて下さい。

- ・訓練が実施要領のとおりに行動しすぎている。「目の前で本当に火災が起きている」という意識で取り組む。
- ・消防設備を有効活用し、避難の優先順位をつける。
- ・日頃から、災害への備えをする。

9. 施設行事実施状況（全体行事）

（令和 3 年 3 月 31 日現在）

月 日	行 事 名	場 所	参加者・団体
4 月 9 日	喫茶・Café“せくれボックス”	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
4 月 16 日	観桜会	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
5 月 7 日	居酒屋・ふれあい乃瀧	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
6 月 11 日	喫茶・Café“せくれボックス”	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
7 月 9 日	居酒屋・ふれあい乃瀧	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
7 月 23 日	入居者家族合同お茶会 ※コロナウイルス感染蔓延防止の観点より職員・ 入居者のみで棟ごと実施	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
8 月 22 日	納涼祭 in せくれ ※コロナウイルス感染蔓延防止の観点より職員・ 入居者のみで棟ごと実施	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
9 月 20 日	長寿を祝う会 ※コロナウイルス感染蔓延防止の観点より職員・ 入居者のみで棟ごと実施	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
10 月 21 日	収穫祭 ※コロナウイルス感染蔓延防止の観点より職員・ 入居者のみで棟ごと実施	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員

※令和 2 年 2 月・3 月は入居者の感染症（コロナウイルス等）流行のため、行事等を延期・中止。

10. 地域における公益的取り組み

社会福祉法の改正に伴い法人事業計画へ記載されているとおり、法第 24 条第 2 項へ準拠した取り組みを実施するとともに事業所が所在する地域の現況へ応じた取り組みを計画して参りました。

事 業 名	場 所	具体的な内容
配食サービス	新田駅前地区 各自宅	独居高齢者世帯の新田駅前地区、平日(月～金)の夕食のみ(17 時配達)1 日 5 食限定実施。どうしても偏ってしまいがちな食事で 1 食でも栄養バランスのとれた食事を低価格で味わって頂きながら配達時に誰かと会話(食事の感想や世間話)をすることで日常生活を充実したものにして頂く。(平成 30 年 2 月より開始) 今年度も、新田駅前区長、民生委員と運営推進会議を通し、独居世帯にお声がけしていただきましたが、現在は希望される方がいないため、実施できず。また新型コロナウイルスにより感染蔓延防止の観点から中止とさせていただきます。

Café “せくれボックス”	特別養護老人 ホームせくれ	施設内で自ら選択した(飲み物・お菓子)を飲食しながら他者との交流の機会を楽しめる趣旨で実施しているカフェに新田駅前地区の独居世帯、高齢夫婦世帯を対象とした方々をお招きし入居者様と楽しいひと時を過ごして頂く。(年 6 回・午前 10:00～) 新型コロナウイルスにより感染蔓延防止の観点から中止とさせていただきます。しかし、コロナ禍でも入居者様への楽しみを半減させないよう施設内において感染対策を講じ少人数で実施させていただきます。
居酒屋 “ふれあいの瀧”	特別養護老人 ホームせくれ	施設内で居酒屋に外出した気分を感じて頂く事を趣旨として、晩酌や軽食を楽しめるよう実施している居酒屋に新田駅前地区の独居世帯、高齢夫婦世帯を対象とした方々をお招きし入居者様と一緒に 1 日の疲れを癒して頂く(年 6 回・午後 16:00～) 新型コロナウイルスにより感染蔓延防止の観点から中止とさせていただきます。しかし、コロナ禍でも入居者様への楽しみを半減させないよう施設内において感染対策を講じ少人数で実施させていただきます。
ショッピングツアー	イオンセンタ ー佐沼店	新田駅前地区の独居世帯、高齢夫婦世帯を対象としたショッピングツアーを無料送迎で実施し、地域の皆様と入居者様の交流を図る。 今年度は、新型コロナウイルスにより感染蔓延防止の観点から中止とさせていただきます。
「お話を聞く会」に 伴う講師派遣	登米市東郷 小学校	登米市東郷小学校より依頼を受け、各専門職からを派遣し、児童の皆さんへ「誰かのために役に立つこと」、「特養の意味」などを教え、働くことの大切さややりがいを知って頂く(随時)。 今年度は、新型コロナウイルスにより感染蔓延防止の観点から中止とさせていただきます。

